

令和6年度 地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業 採択団体＜市区町村＞

概要

- 孤独・孤立対策推進法に基づく「孤独・孤立対策に関する施策の推進を図るための重点計画」（令和6年6月11日孤独・孤立対策推進本部決定）に基づき、地域の実情に応じた孤独・孤立対策を推進。
- 市区町村を対象として、各地域の実情に応じた関係者の連携・協働体制の構築や孤独・孤立対策の推進等に係る支援を行い、その取組プロセスや成果を取りまとめ、全国展開。

取組団体

令和6年度の取組団体は、以下の14団体

○新規取組団体（5団体）

中野区（東京都）、岡崎市（愛知県）、豊田市（愛知県）、播磨町（兵庫県）、
呉市（広島県）

○過年度からの取組団体（9団体）

京都市（京都府）、福岡市（福岡県）、熊本市（熊本県）、
市原市（千葉県）、座間市（神奈川県）、春日井市（愛知県）、鳥取市（鳥取県）、
福山市（広島県）、宇和島市（愛媛県）

採択団体と取組概要(1/2)

	団体名	政令市	概要
1	京都府 京都市	●	現在運用中の「京都市版お悩みハンドブック」について、孤独・孤立に悩む方自らが社会資源につながりやすくなるよう、「孤独・孤立に関する連携協定」協定締結団体等の地域資源の具体的な事業内容や強みを「見える化」したオンラインデータベースの作成機能を付加するカスタマイズを実施し、支援団体間の更なる連携強化にも活用する。
2	福岡県 福岡市	●	孤独・孤立状態にある方は、複合的な課題を抱えていることが考えられ、その中には悩みが明確になっていない方、どこに相談すればいいのかわからない方も多い。そのため、広報啓発の充実を目的とした福岡市版お悩みハンドブック（Webサイト）の新設や関係機関等へ孤独・孤立問題に関する普及活動を実施する。
3	熊本県 熊本市	●	既存のプラットフォームの事務局機能をNP0に担ってもらい、NP0の事業継続性を担保しつつ、官民連携の深化を図る。さらにはこれまでの知識や経験を相互に共有し、連携・協働することで、孤独・孤立問題の「予防」と「支援」について発展的な取組に繋げ、今後目指す孤独・孤立対策地域協議会設立のベースとする。
4	千葉県 市原市		プラットフォーム会議の訴求力・発信力の強化や、「ゆるくつながぐ」精神を浸透させていくことを目的とした「ゆるサポ」の養成、地域住民やNP0団体等から企画提案を募る「公募型研修委託事業」等により、地域の多様な主体との連携による自律的な課題解決が図られる体制づくりを目指す。
5	東京都 中野区		孤独・孤立対策の啓発・機運醸成が目的の事業として、地域包括ケアシンポジウムと見本市を開催する。地域包括ケアシンポジウムでは大学生等の参画により20代～30代の若者の孤独・孤立をテーマとして実施する。見本市では、関係機関どうしが連携・交流を図り孤独・孤立対策に資する新たな事業を創出する機会とする。
6	神奈川県 座間市		共同実施自治体による官民連携プラットフォーム形成に向けた連絡会議を開催する。共同する4市にはひきこもり支援を通じた連携の実績があるためそこをベースとし、それぞれが築いてきた社会資源やネットワークを共有し、市域を超えた支援体制の構築を図る。また、座間市で令和5年度に実施し、継続する声が多く上がった美術展の開催など、アートに関する事業を通して地域住民への周知・意識づけを行う。
7	愛知県 岡崎市		「つなぎめ」の連絡網を拡充し、一団体として活動できるつながりへ発展させてプラットフォームを設置する。岡崎市の中でウォーカブルな開発を進める地域、通称QURUWA(クルワ)で空いているスペースやレンタルスペースを活用し、LGBTやヤングケアラー等定期的にテーマを変えた企画を実施する。テーマに関心がある方がつながることができる場を目指す。

採択団体と取組概要(2/2)

	団体名	政令市	概要
8	愛知県 春日井市		新たに2地区で連携プラットフォームを設立し、先行するモデル地区との情報共有や相互支援のネットワーク化を図る。また、ICTを活用している事業者や福祉分野以外の地域貢献活動に関心がある民間企業、社会福祉法人等との連携・協働を促進し、人と人がつながりあう取組を創出する。
9	愛知県 豊田市		実施している支援プロジェクトに孤独・孤立対策を行っている、または興味がある事業者を加えてプラットフォームを設置する。また、相談に「来ない・来られない」対象者への支援を提供するため、既存の事業を強化する。人や地域、社会とのつながりのきっかけとなる参加支援事業を各支援機関が持つ情報を分析して実施し、支援がいきわたる社会を実現する。
10	兵庫県 播磨町		「待ちの行政」から「アウトリーチ型の行政」へと転換するため、先進地視察の情報交換等を踏まえ、アウトリーチ型相談体制を構築するとともに、社会福祉協議会や民生委員・児童委員と連携しながら、きめ細やかなプラットフォームを確立する。
11	鳥取県 鳥取市		孤独・孤立対策を「まちを豊かにする」活動として位置づけ、「ひとりぼっちをつくらないまちづくりの創造」を目指す。つながりサポーターについては、交流会やリーダー養成講習会、定期的な研修会を開催する。また、住民への周知や意識づけについては孤独・孤立対策の基盤事業の1つである地域食堂ネットワークや各地域の地域食堂、テレビCM・番組などの活用を通して行う。
12	広島県 呉市		孤独・孤立の実態把握に関する市民意識調査を実施し、地域の居場所づくり等のため、市、地域の事業者、NPO等を含めたプラットフォームの設置を行う。また、孤独・孤立問題の周知を図り、地域全体で支援する気運を醸成するために講演会を実施し、地域での包摂（温かい見守り、声をあげやすい地域社会の実現）を進める。
13	広島県 福山市		官民連携プラットフォームを設立する。分野を問わず悩みを受け止め、各関係機関が連携しながら支援する。孤独・孤立の「未然防止・予防・早期発見」を目標に、誰かに頼りやすい環境を整えるため、正しい理解と対応について啓発に努める。
14	愛媛県 宇和島市		生活に欠かすことのできない「食」をテーマとしてNPO団体が実施している「食支援」を活用し、顔の見える関係のきっかけをつくり、そこを起点に日ごろの悩みなどを気軽に相談できるつながりが持てるような関係性の構築を目指す。行政機関の相談支援体制の強化とNPO団体の幅広く柔軟な活動との両輪で、抜け漏れのない支援を確立する。